だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センターNEWS

2022 秋号

2022（令和4）年　10月 発行 vol.52

伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑3/16地震で被災し4階に仮移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
http://www.date-civilsupport.jp/

NEW

連載 みんなのSDGs

エスディージーズ
SDGs（もくひょう）17の目標をわかりやすく①　5つのP（ぴー）

SDGs（もくひょう）には目標（もくひょう）が17ある…と聞（き）くとなんだか難（むずか）しそうですね。イメージしやすいように、キーワードを使（つか）って考（かんが）えてみましょう。５つの「P」を見（み）ていきます。

Let's focus on the "5 Ps" of the SDGs！

目標 1～6
People（ピープル）（人間（にんげん））貧（まず）しさを解決（かいけつ）して健康（けんこう）に

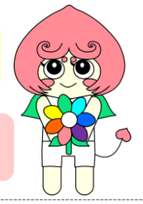
目標 7～11
Prosperity（プロスペリティ）（豊（ゆた）かさ）経済的（けいざいてき）に豊（ゆた）かで安心（あんしん）して暮（く）らせる世界（せかい）に

目標 12～15
Planet（プラネット）（地球（ちきゅう））自然（しぜん）と共存（きょうぞん）して地球（ちきゅう）の環境（かんきょう）を守（まも）ろう

目標 16
Peace（ピース）（平和（へいわ））争（あらそ）いのない平和（へいわ）を知（し）ることから実現（じつげん）しよう

目標 17
Partnership（パートナーシップ）（パートナーシップ）みんなで協力（きょうりょく）し合（あ）おう

SDGsは「人間「豊かさ」」「地球」「平和」のための目標。
みんなの「パートナーシップ」で実現をめざすんだね。



Check！ 支援センターHP

←←←
9月にリニューアル！
「市民活動団体」のページにアクセスしてみよう。
→→→

- **「地域自治組織一覧」**

市内全地域自治組織（28団体）のプロフィールを掲載しました。各団体からの追加の情報提供をお待ちしています。画像や文書ファイルも可。**センターHPでぜひお住まいの地域や活動をPRしてください。**

- **「その他市民活動団体一覧」**

「特定非営利活動法人一覧」に加えて、法人格の種類や有無にかかわらず、市内で活動する団体の一覧を作りました。掲載団体募集中。**任意のサークルやグループの紹介などお待ちしています。**

- **「市民活動の記録」アーカイブ**

団体の通信、会報、報告書など冊子類。チラシやポスター、画像。これらはみなさんの活動の"証し"であり、経験と学びの宝庫です。**センターHPでの保存、公開に関心のある方はお問合せください。**

伊達市市民活動支援センター
http://www.date-civilsupport.jp/
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑3/16地震で被災し4階に仮移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
開館日: 毎週月曜日～金曜日(年末年始を除く)
開館時間: 午前8時30分～午後5時15分まで

NEW

市民活動 いろは 教えて！だってちゃん

Q. NPO（特定非営利活動）法人の他にも非営利法人はあるの？

A. 非営利型の一般社団法人や一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人も、構成員に収益を分配することを目的とせず、様々な社会貢献活動を行う非営利法人です。

非営利型の法人には、公益事業での収益には課税されないなどのメリットがあります。法人格の種類によって、活動の制限の有無や必要な構成員、設立の手続きや費用は異なりますので、（法人化するかどうかを含めて）それぞれのメリットとデメリットをよく検討する必要があります。法人格の取得はあくまでも手段・道具の１つ。目的を達成するために最適な手段・道具は何であるか、じっくり考えて選びましょう。

詳しくは、支援センターに相談してね♡

		NPO法人	一般社団法人	合同会社(LLC)	株式会社
活動		特定非営利活動（20分野）	非営利型/営利型で異なる	営利活動	営利活動
構成員		最低10人	2人以上	1人以上	1人以上
設立	手続き	認証	届出	届出	届出
	費用	不要	約11万円	約11万円	約25万円
	期間	3か月程度	2-3週間程度	2週間程度	10日間程度
課税		非課税（収益事業課税）	法人課税（非営利事業非課税）	構成する各法人課税	法人課税

※ 宮入賢一郎他『最新版図解NPO法人の設立と運営のしかた』日本実業出版社2022等を参考に支援センターが作成。

だてな活動

特定非営利活動法人 MDDスタッフ

伊達市ふるさと会館（MDDホール）　伊達市前川原63番地

2023 MDD CLUB チラシ

文化活動を裏から支える

「MDDスタッフ」は、「伊達町ふるさと会館」オープンの前年（1991）に、舞台裏方のボランティア組織として誕生した組織です。県内の先進事例「喜多方プラザ」のボランティア組織「うらかた」を参考に、県北地区の舞台愛好者を募集。舞台、音響、照明の研修を重ねて活動を開始しました。ふるさと会館にはコンサート等の企画運営を行う「MDD文化鑑賞会」という組織もあり、市内外で様々な文化活動行っていました。2017年に「MDDスタッフ」と合併して活動を継続しています。

生まれ変わった「MDDスタッフ」

MDDホールの支援組織として、文化事業の企画運営から舞台、音響、照明まで力を発揮してきた「MDDスタッフ」は、2021年に法人格を取得して「特定非営利活動法人MDDスタッフ」になりました。現在会員は29名。MDDホールを中心に様々な文化活動を実施しています。コンサートや舞台、音響、照明に興味のある方。一緒に感動の舞台を作り上げてみませんか?!（024-583-3244　ふるさと会館　大橋）

2012 福島稲荷神社　古澤巌さん奉納公演

だてな活動

フラワー愛好会 「呑気倶楽部」
伊達市霊山町掛田

2022　ハス池

やれたらいいな…をやってみた！

「昔のようにホタルを飛ばせたい」。地域の“仲良し”数人で始めた夢語りが、2020年当会発足のきっかけになりました。現在会員は約30名。霊山児童館に隣接する空き地を拠点に、ハスやザル菊の栽培、田んぼとビオトープ（生物生息空間）の整備、ホタル幼虫の放流などを行っています。遊び心を大切に、それぞれができる範囲で関わる自主的な活動スタイルですが、掛田小学校、農協との三者連携事業「田んぼの学校」や、霊山児童館との共催事業「生き物教室」も実施するなど、環境整備を通じて地域とのつながりを育むことができました。

みんなの喜び、みんなの楽しみ

夏の水辺を彩るハス。イネや水生生物に親しむ子供たち。秋はザル菊が見頃を迎えます。コロナ禍のもとでスタートした活動ですが、地域の方や道行く人に喜んでもらえることが力になりました。ぜひ多くの方に活動を知ってもらい、訪れていただきたいと思います。敷地内に東屋を設置する計画も進行中。皆さんもぜひ、お住まいの地域で楽しい“遊び”を実践してください。（024-586-3622　丹治）

2021　田んぼの学校

だてな活動

株式会社 カノウヤ
伊達市保原町上保原万所26

代表取締役
樋口静克さん

技術に対する信頼のため

2022年3月の福島県沖地震では、多くの瓦屋根の家屋が被災し、当社にも修理の依頼が多数寄せられました。被災家屋の調査に奔走する中で、地震の影響はさることながら、不適切な施工方法のために被害が発生、増幅したケースも多いことに気づきました。他方、地元が多忙を極める中、県外の業者が協力に馳せ参じてくれましたが、お客さまにとっては馴染みがなく、信頼を得にくいという事態も起きていました。そこで、専門知識のない方に施工技術の基礎を解説し、業者の見極めにも役立つガイドブックを作成しようと思いたちました。

瓦屋３代目の心

カノウヤは1946年に瓦屋として創業しました。現在は住宅の設計から施工管理、不動産、保険まで幅広く手掛け、業態は大きく変わっています。社員の瓦職人も少なくなりましたが、屋根工事専門会社として創業した瓦屋の思いは、今も変わらずにあります。インターネットで見積りを取り、簡単に価格の比較ができるようになっても、どのような仕事をする会社は容易に知り得ません。私たちプロの情報提供が、お客さまの選択肢の豊かさに繋がることを願っています。（024-575-2308　樋口）

ガイドブック表紙

2020 つきだてマルシェ
（旧小手小学校）

11/6（日）月舘農村
広場で何かあるかも…♡

だてな活動

ツキラボ
伊達市月舘町

ツキラボの誕生

2020年、旧月舘小学校と旧小手小学校、旧月舘中学校が月舘学園に生まれ変わりました。市内初の小中一貫教育校の開設プロセスを、当初から地元サイドで担ったのが任意グループ「ツキダテプロジェクト」。旧小中学校のPTA会長に地元有志が加わり、月舘町内の各地域を横の連携でつないで地元の意向を固める役割を果たしました。学校の問題はイコール、地域をどうしていくかという問題です。プロジェクトから地域で動く部隊が派生して「ツキラボ」と称するようになりました。「つきだてマルシェ」（4回開催）の仕掛け人も私たちです。2020年以降はコロナ禍のもとで実施を見合わせていますが、人口3,000人の町に3,000人を呼び込むイベントに育ちました。

自ら動く。楽しければ、人もついてくる

「どうやったら人を呼べるか。」ツキラボのメンバーは、誰かから頼まれたり、指示されて動くのではなく、自らの楽しみや喜びのため、自分で考え、自分で動きます。足りない人材は自分で見つけて声をかける。共に楽しみを追ううちに、また新しい人とつながります。義務や奉仕ではなく、自らのうちに活動の原動力があることがツキラボの良いところです。（090-1935-6880　中山）

2020 つきだてマルシェ
（旧小手小学校）チラシ

だてな活動

梁川スクールコミュニティーセンター
伊達市梁川町北本町２１-１

特技を生かした教室＝何かしたい人の活動スポット

梁川スクールコミュニティーでは、地域の皆さんのご協力を得て体験教室を実施しています。これまでそろばんや昔話、絵画、太極拳、紙漉き、太鼓、琴、まゆ玉づくりなど、様々な“地域の名人”に来ていただきました。皆さん快く依頼を引き受けてくださり、特技を通じて子ども達と交流し、笑顔になって帰られます。地域に豊かな人材とそれを生かす場があり、子ども達にその豊かさに触れる機会を提供できることを地元として嬉しく誇りに思います。これからも協力の輪を広げ、地域ならではの学びの場づくりに臨みたいです。（024-572-5072　村上・五十嵐）

“地域の名人”活動の様子

「茶道体験教室」講師　吉田朋子さん（梁川茶道会代表）

梁川スクールコミュニティーで、子ども達に和室での礼儀作法や抹茶のたて方などを指導しています。コロナ禍のもとで、梁川茶道会の活動も休止を余儀なくされ、さびしい思いをしていますが、次世代に日本の「道」を伝える機会があることは、私たちの活動の励みになっています。

2022　茶道体験教室